

編集後記

大学・研究機関の改革が叫ばれている昨今、2003年は当研究科にとっても、大きな転換期を迎えた年の一つとなりました。当国際多元文化専攻も、その基盤体制や今後向かうべき方向を、まさに手探りで模索し続けてきました。そして早くも設立6周年を迎え、今年度はさらに、新しく2つの講座を増設し、高度な知識人を養成する専門コースも立ち上げました。そのような折、『多元文化』論文集も第4号を発刊するに至り、院生や教官達にとって、日頃の研究成果を発表できる良い場となってきました。

今回は、院生からの投稿論文が19篇あり、審査を通過した17篇の論文を掲載することになりました。論文の研究内容は言語から文化へと及び、また、研究対象も欧米諸国からアジア、日本へと広くまたがっており、まさに当研究科に所属する院生達の研究態度や関心方向の多様性を映し出しています。さらに、自らの手で製作しようとの意気込みの中、本号の表紙も院生自らが作り上げました。

最後に、御多忙中にも関わらず、懇切丁寧な指導を根気良くしていただいた先生方に、心よりの感謝を申し上げます。今後も、当研究科の発展とともに、より優れた論文集として号を重ねていくことを、編集委員一同切に願っております。

(N.K.)